



1. 2年生へ～新入試情報～

新入試まで残り1年になってきました。入試方法について徐々に明らかになってきているものの、検討中の内容も多いようです。先日、東北大学・宮城教育大学・宮城大学の3大学入試説明会が行われました。今回の説明の中で、特に注目すべき項目について紹介します。今年度の入試情報に加え、新入試についての情報提供もありましたので報告します。

☆令和3年度入試について

【東北大学】

(1) 入試区分について

現行		変更後
一般選抜入学試験（一般入試）	→	一般選抜入学試験（一般選抜）
アドミッションズ・オフィス入学試験（AO入試）	→	AO入試（総合型選抜）

(2) AO入試について

AOⅡ期を実施する全ての募集単位（学部・学科・系・専攻）において、第1次選考で筆記試験を実施する。

(3) 一般選抜入学試験における主体性等の評価について

一般選抜では、志願票に調査書と対応した5項目のチェックリストを設け、合否ラインに並んだ場合、チェックリストによる主体性評価が高い志願者を優先的に合格とする。その際、チェックリストの根拠を調査書により確認し、その他の資料は求めない。

【チェックリスト】

- (A) 高校における学習活動に主体的に取り組んできた
- (B) 部活動・ボランティア活動に主体的に取り組んできた
- (C) 生徒会・学校行事等に主体的に取り組んできた
- (D) その他の活動に主体的に取り組んできた
- (E) 高校時代に取得した資格・獲得した賞がある

【宮城教育大学】

(1) 一般選抜後期日程の提出書類について

入学時点での意欲・関心の低い学生が見られ、教員採用試験受験者数の減少などから、後期試験に「教員志望理由書」（1000字以上）の提出を求められる。これは面接の際の参考資料となる。

(2) 大学入学共通テストについて

- ①国語は、マーク式200点、記述式40点の合計240点とする。
- ②英語は、筆記100点、リスニング100点とする。

【宮城大学】

(1) 一般選抜における主体性評価について

- ①看護学群は従来どおり、面接で評価する。
- ②事業構想学群と食産業学群は、出願時に調査書と対応した5項目程度のチェックリストを設け、「活動報告書(仮)」として出願者が自己申告し、調査書の内容と照合し、採点される。配点は、一般前期、後期の総点のおおむね2%である。eポートフォリオ等の追加資料の提出は求めない。

(2) 一般選抜の実施内容について

宮城大学のホームページに9月25日現在の第四報に掲載されていますので、ご覧ください。

(3) 大学入学共通テスト「英語」における外部の「資格・検定試験」の活用について

【CEFER*対照表に基づく段階ごとの大学入学共通テスト「英語」への加点内容】

CEFER	C2	C1	B2	B1	A2	A1
加点	50	50	45	35	25	10

※CEFERについては、別途案内の文書をご覧ください。

大学入学共通テスト「英語」における外部の「資格・検定試験」の活用について

宮城県と隣県の大学について、現時点で分かっている情報は以下のとおりです。

一定水準以上の結果を出願資格とする大学	CEFER対照表により大学入学共通テストに加点する大学	資格・検定試験を課さない大学
宮城教育大学(A1以上)	宮城大学	東北大学
山形大学(農前期)(下限なし)	山形大学(人文・理・工)	
山形大学(地域教育・医・農後期)(A2以上)	福島大学 茨城大学	
山形大学(看護)(A1以上)	岩手大学	

2021年度入試からは、大学入試センターが、資格・検定試験の成績を管理する「大学入試英語成績提供システム」が運用されます。受験生が受けた資格・検定試験の成績を大学入試センターが一元的に管理し、入試に利用する大学へ成績を提供するシステムです。導入初年度は、GTEC、ケンブリッジ英語検定や実用英語技能検定(英検)など、システムへの必要な参加要件を満たした資格・検定試験(以下、英語認定試験)が対象となります。注意が必要なのは、このシステムに登録できる英語認定試験の受験期間と回数です。本来、一部を除き資格・検定試験の受験時期や回数に制限はありませんが、このシステムに登録できるのは、**高校3年生以降の4~12月の間に受験した最大2回までの成績のみ**となります(一部、例外措置あり)。なお、英語の資格・検定試験を活用した入試において、必ずしも「大学入試英語成績提供システム」に登録された成績が必要になるとは限りません。システムの成績を活用するかどうかは大学の判断によります。大学により、独自に活用できる資格・検定試験を定めて、受験生が個別にその成績を提出することを認める場合、必ずしもシステムに登録された成績である必要はありません。この場合、活用できる資格・検定試験の種類や受験時期等は大学により定められることとなります。受験生が、大学入試英語成績提供システムへ成績を登録するには、大学入試センターから個々に発行される共通IDと呼ばれるIDが必要となります。受験生が、システムへの成績登録を希望する場合、英語認定試験の受験申込み時に共通IDを記載することで、試験実施主体から大学入試センターへと成績が送付されます。さらに、受験生が出願した大学において英語認定試験の成績を活用する場合は、出願時に共通IDを申告することで、大学入試センターから大学へと提供される仕組みです。共通IDの申込みについては、10月下旬から手続きを進めていきます。詳細は、別途案内の保護者あて文書と大学入試センター作成のリーフレットをご覧ください。